



2026年12月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月10日

上場会社名 株式会社ミルボン

上場取引所 東

コード番号 4919 URL <https://www.milbon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 坂下 秀憲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション・財務担当 (氏名) 兵庫 真一郎 TEL 03-6478-6301

半期報告書提出予定日 2026年8月10日 配当支払開始予定日 2026年8月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年1月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	26,878	8.3	3,347	72.7	3,499	88.8	2,416	476.5
2025年12月期中間期	24,807	1.1	1,938	39.0	1,853	44.3	419	81.6

(注) 包括利益 2026年12月期中間期 2,536百万円 (—%) 2025年12月期中間期 140百万円 (95.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	76.00	—
2025年12月期中間期	12.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	59,753	50,159	83.9
2025年12月期	57,801	49,058	84.9

(参考) 自己資本 2026年12月期中間期 50,159百万円 2025年12月期 49,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	40.00	—	48.00	88.00
2026年12月期	—	40.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	48.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,600	5.2	6,550	15.9	6,740	23.5	4,600	33.8	144.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期中間期	32,305,534 株	2025年12月期	32,305,534 株
2026年12月期中間期	492,710 株	2025年12月期	524,904 株
2026年12月期中間期	31,795,009 株	2025年12月期中間期	32,575,503 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結累計期間におけるわが国経済は、不安定な世界経済、特に中東情勢の緊迫などを背景とした物価上昇が継続する中、消費者の節約志向の高まりが続いております。一方で、企業の賃上げなどによる雇用・所得環境の改善を背景に、経済全体としては緩やかな回復が続いているものと認識しております。また、今後の更なる物価上昇や中東情勢の動向、米国の関税政策、為替や金利の変動が経済に与える影響などについては、引き続き留意すべきリスクであると考えております。

このような環境下、中期事業構想（2022-2026）の最終年度となる2026年度は、国内市場の安定成長と、海外市場における力強い成長の両立を目指しております。国内市場においては、当社のヘアケア用剤が店販品を中心に、引き続き安定した成長を持続している一方、染毛剤などの業務用品においては競争環境が激しくなっております。こうした状況を踏まえ、高付加価値の新製品投入に加え、多様な顧客ニーズに合致した商材展開および教育施策を一層強化し、美容室および代理店と一体となった成長を目指してまいります。

海外市場においては、中期事業構想（2022-2026）で設定した7つのリージョン戦略における投資の優先順位について再検証を行った結果、市場性および成長力の高い米国、EU、韓国を重点エリアとして設定しております。この方針に基づく積極的な活動の成果が着実に現れてきており、米国およびEUでの高成長が継続しているほか、前年は政治の混乱による影響を受けた韓国においても、当中間連結累計期間は売上、利益ともに好調な推移となっております。

この結果、当中間連結累計期間の連結売上高は268億78百万円（前年同期比8.3%増）となりました。ヘアケア用剤は、日本国内では、スモールマス市場を意識した特色のある新製品「スワエ」などが好調に売上を伸ばしているほか、「オージュア」や「グローバルミルボン」といったプレミアムブランドの販売も、店販品を中心に順調でした。海外市場でも、ヘアケア商品に対する需要は強く、概ね各国で好調な推移となりました。染毛剤は、日本国内でグレイカラーは引き続き高い成長を維持したものの、「オルディープアディクシー」などのファッションカラーの販売減が続きました。その中では、オーガニック認証機関ICEAの認証を有する「ヴィラロドラ カラー」が引き続き好調を維持しました。一方で、海外における染毛剤が堅調に推移したことから、連結全体ではプラス成長となっております。地域別では、米国、EU、韓国、中国といった海外市場が好調に推移していることが、業績が堅調になった要因となっております。

利益面においては、国内外の売上が好調だったことによる増収効果と、売上総利益率の改善により、売上総利益が増加しました。販管費については、人員増やベースアップによる人件費の増加、売上の増加に伴う物流費の増加があった一方、販促関連費用の減少などもあり、営業利益は33億47百万円（同72.7%増）、経常利益は34億99百万円（同88.8%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は24億16百万円（同476.5%増）となりました。

品目別売上高及び国内海外別売上高は次のとおりです。

（品目別売上高）

（単位：百万円）

品目	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減額	増減率（％）
	金額	構成比（％）	金額	構成比（％）		
ヘアケア用剤	15,624	63.0	17,149	63.8	1,525	9.8
染毛剤	7,982	32.2	8,537	31.8	555	7.0
パーマメントウェーブ用剤	710	2.9	745	2.8	35	5.0
化粧品	327	1.3	296	1.1	△31	△9.5
その他	163	0.6	149	0.5	△14	△8.7
合計	24,807	100.0	26,878	100.0	2,070	8.3

(国内海外別売上高)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
国内売上高	18,483	74.5	18,993	70.7	510	2.8
海外売上高	6,323	25.5	7,884	29.3	1,560	24.7
合計	24,807	100.0	26,878	100.0	2,070	8.3

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して19億51百万円増加の597億53百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して17億19百万円増加の308億20百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が5億10百万円、商品及び製品が10億61百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して2億32百万円増加の289億33百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比較して8億48百万円増加の85億33百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等が7億96百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して3百万円増加の10億61百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末と比較して11億円増加の501億59百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が8億90百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.9%から83.9%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の1,543円67銭から1,576円70銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて7億58百万円増加し、122億72百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は30億74百万円となりました。これは主に税金等調整前中間純利益33億72百万円の計上、減価償却費11億92百万円、売上債権の減少額4億8百万円、棚卸資産の増加額14億37百万円、法人税等の支払額4億59百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8億86百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8億8百万円、無形固定資産の取得による支出3億54百万円、定期預金の払戻による収入2億45百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は15億24百万円となりました。これは主に株主さまへの配当金の支払額15億24百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、直近の業績等を勘案し、前回予想（2026年2月13日発表）を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年8月10日）に公表いたしました「連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,816,180	12,326,708
受取手形及び売掛金	5,956,056	5,550,579
商品及び製品	8,001,451	9,063,264
仕掛品	48,022	62,945
原材料及び貯蔵品	2,490,061	3,002,934
その他	851,367	869,993
貸倒引当金	△62,082	△55,806
流動資産合計	29,101,056	30,820,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,969,030	12,109,398
機械装置及び運搬具（純額）	3,253,304	3,014,999
土地	6,449,665	6,446,995
建設仮勘定	1,236,647	245,715
その他（純額）	1,001,076	962,693
有形固定資産合計	22,909,724	22,779,802
無形固定資産	1,538,722	1,674,490
投資その他の資産		
投資有価証券	642,800	616,760
長期貸付金	49,671	29,207
退職給付に係る資産	1,861,677	1,882,555
繰延税金資産	283,973	565,622
その他	1,667,338	1,514,035
貸倒引当金	△253,193	△129,444
投資その他の資産合計	4,252,267	4,478,737
固定資産合計	28,700,715	28,933,029
資産合計	57,801,771	59,753,648
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,436,502	1,989,060
未払金	3,990,075	3,582,171
未払法人税等	435,172	1,231,638
賞与引当金	627,958	650,780
その他	1,195,536	1,079,600
流動負債合計	7,685,245	8,533,250
固定負債		
退職給付に係る負債	21,949	21,595
資産除去債務	917,672	916,788
その他	118,143	122,844
固定負債合計	1,057,765	1,061,228
負債合計	8,743,011	9,594,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	199,120	196,988
利益剰余金	43,576,061	44,467,014
自己株式	△1,493,326	△1,401,724
株主資本合計	44,281,854	45,262,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△26,040
為替換算調整勘定	3,738,003	3,989,309
退職給付に係る調整累計額	1,038,902	933,621
その他の包括利益累計額合計	4,776,906	4,896,890
純資産合計	49,058,760	50,159,168
負債純資産合計	57,801,771	59,753,648

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	24,807,456	26,878,354
売上原価	9,305,330	9,742,661
売上総利益	15,502,126	17,135,692
販売費及び一般管理費	13,563,536	13,788,419
営業利益	1,938,590	3,347,273
営業外収益		
受取利息	11,194	11,959
受取配当金	2,292	8,592
持分法による投資利益	—	28,366
為替差益	—	5,959
補助金収入	14,318	38,296
その他	16,829	59,037
営業外収益合計	44,634	152,211
営業外費用		
持分法による投資損失	9,406	—
為替差損	120,087	—
その他	411	118
営業外費用合計	129,906	118
経常利益	1,853,318	3,499,366
特別利益		
固定資産売却益	625	449
特別利益合計	625	449
特別損失		
固定資産除却損	447	2,307
固定資産売却損	0	—
減損損失	—	125,345
投資有価証券評価損	755,420	—
特別損失合計	755,868	127,652
税金等調整前中間純利益	1,098,075	3,372,163
法人税、住民税及び事業税	721,479	1,176,254
法人税等調整額	△42,568	△220,514
法人税等合計	678,911	955,739
中間純利益	419,164	2,416,423
親会社株主に帰属する中間純利益	419,164	2,416,423

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	419,164	2,416,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	398,009	△26,040
為替換算調整勘定	△638,072	251,305
退職給付に係る調整額	△38,374	△105,280
その他の包括利益合計	△278,437	119,984
中間包括利益	140,726	2,536,407
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	140,726	2,536,407
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,098,075	3,372,163
減価償却費	1,136,193	1,192,801
減損損失	—	125,345
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△130,025
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,192	21,086
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△58,138	△178,729
受取利息及び受取配当金	△13,486	△20,551
持分法による投資損益 (△は益)	9,406	△28,366
為替差損益 (△は益)	44,237	△21,447
投資有価証券評価損益 (△は益)	755,420	—
固定資産売却益	△625	△449
固定資産除却損	447	2,307
売上債権の増減額 (△は増加)	686,798	408,272
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△410,835	△1,437,982
仕入債務の増減額 (△は減少)	60,915	531,565
その他	△729,737	△324,096
小計	2,623,864	3,511,891
利息及び配当金の受取額	15,638	22,675
法人税等の支払額	△1,173,310	△459,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,466,192	3,074,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,674,124	△808,192
有形固定資産の売却による収入	625	450
無形固定資産の取得による支出	△119,080	△354,531
貸付金の回収による収入	170	20,120
定期預金の払戻による収入	—	245,000
差入保証金の差入による支出	△31,610	△27,625
差入保証金の回収による収入	4,821	43,244
その他	△30	△4,920
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,819,229	△886,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,570,561	△1,524,581
その他	△268	△218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,570,829	△1,524,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	△177,775	95,359
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,101,642	758,785
現金及び現金同等物の期首残高	13,778,584	11,513,601
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,676,941	12,272,386

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品品の製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2026年8月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

事業環境や財務状況などを総合的に勘案の上、株主還元の充実と資本効率の更なる向上を目的とし、自己株式取得を行うことを決定いたしました。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得する株式の種類	普通株式
(2) 取得する株式の数	90万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.8%)
(3) 株式の取得価額の総額	18億円(上限)
(4) 取得期間	2026年8月12日から2026年12月17日まで
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付